

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 347 回 研究会

日 時 令和 3 年 4 月 21 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 50 分
場 所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール
オンライン併用開催
テーマ 会員企業取組報告会
「ウイズコロナそしてアフターコロナに向けて」
報告者 会 長 上田喜寛様 有限会社上田玄米茶屋
副会長 芳仲敏典様 芳仲繊維株式会社
代表世話人 山田育弘様 株式会社山田プラスチック工業
事務局 山田章生 奈良中央信用金庫

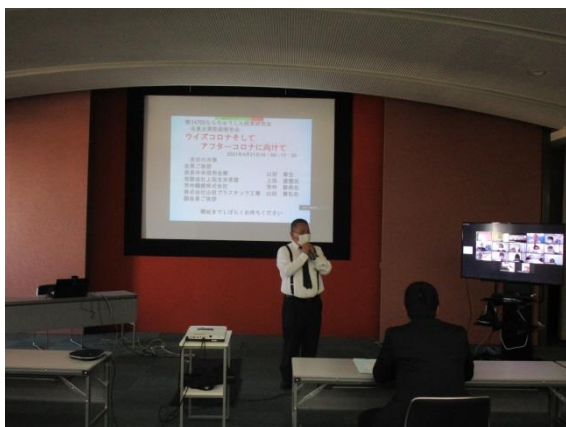
今回の研究会も、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み会場に来訪頂いてのご参加と Z o o m によるオンラインでのご参加にわかれてのハイブリッド型で開催しました。今回の研究会は、「ウイズコロナそしてアフターコロナに向けて」をテーマに会員企業からの報告会として実施しました。

1 番目に事務局山田より奈良中央信用金庫の取組について報告させて頂きました。続いて 2 番目に上田会長より上田玄米茶屋の取組を報告頂きました。コロナ禍においても大きな影響は無かったとのことでしたが、国内の販売農家数の減少や消費者のお茶に対する飲み方の変化への対応、また自社工場が火災に見舞われたことを契機に事業再構築に取り組んでいくとお話しでした。3 番目に芳仲副会長より芳仲繊維の取組を報告頂きました。新型コロナウイルスの感染拡大により外出が抑制されたことによりアパレル業界は大きな影響を受けており当社が取り扱う OEM、ODM 製品は大幅に受注がダウンしましたが、衛生商品の取扱いやアイソレーションガウンの生産に着手しカバーしているとのこと。衛生商品では困った時は助け合う精神で「儲けないこと」、ガウン取扱いの背景には過酷な現場で頑張っておられる医療従事者を支援したいとの熱い思いをお話し頂き、今後は EC に力を入れていくとのこと。最後に山田代表世話人より山田プラスチック工業の取組を報告頂きました。コロナ禍の対応として、オンラインでの打合せが多くなり伝わり難い部分もあるが遠方のお客さんや中国での金型製作の打合せが便利になったとのこと。プラスチック製品においてはコロナで受注が落ち込んだ製品があれば増加した製品もあり、奈良県内の業者間で仕事を融通することにより助け合っており B C P (事業継続計画) の面でも連携が大事であると認識できたとお話しでした。今後は社員のレベルアップ、他業者と連携が取り易いように汎用的な仕事とニッチな仕事のバランスも考えながら取組ん

で行くとのお話しでした。

今回のテーマは、会員の皆様の会社にとっても重要な、関心の高い内容ですので、講義が終ってからでも、中国との取引についてなど、それぞれの報告者に対して多くの質問が寄せられました。上田会長、芳仲副会長、山田代表世話人様、貴重なご講義をありがとうございました。

以上



開会ご挨拶 上田会長



事務局山田 報告



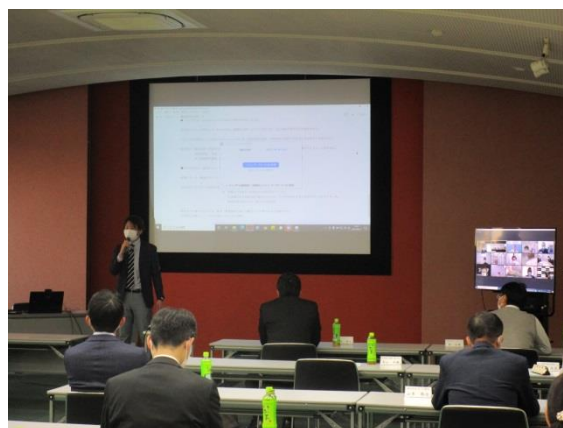
上田会長 報告



芳仲副会長 報告



山田代表世話人 報告



閉会ご挨拶 芳仲副会長